

山下小「学校教育目標」と「令和7年度重点目標」

自分のよさを発揮し、友だちと共に伸びていく子どもが育つ学校

【令和7年度重点目標】聴く・つなげる・深める・チーム支援・健康

豊かな人間性

- 創造力、実践力に富んだ個性豊かで思いやりのある心

健やかな体

- 自分の健康や安全に関心をもつ
- 必要な知識や実践力を身に付ける

資質・能力の育成

何ができるようになるか

学校教育の基本

主体的に学び、ねばり強く取り組む。
自分のよさ、他人のよさに気づく。
他者の言葉に耳を傾けながら、自分の考えを深め、課題を解決する。
社会の変化に対応できる。

何が身に付いたか

学習評価を通じた学習指導の改善

課題に対して、自分なりに工夫しながら見通しをもって学習に取り組んでいる。
おたがいを認め合っている
聴いて 考えて つなげる力がついている。
学んだことを他に広げ、活用しようとしている。

目指す学校の姿

挨拶と思いやりにあふれる学校
自分の考えをもち、意欲あふれる活気ある学校
子どもの人権や個性を尊重する学校
保護者・地域と共に創る学校

児童の発達をどのように支援するか

配慮を必要とする児童への指導

全教職員で児童一人一人をみていく
・職員間の情報共有
一人一人の特性やニーズに応じた指導
・SC、SSW、関係機関等との連携
ユニバーサルな視点を持った指導
支援ツール（ICT機器等）の活用

目指す児童の姿

や・やる気を出し
ま・まわりの人を思いやり
し・しっかり力を合わせ
た・たくましくがんばる

何を学ぶか

教育課程の編成

- 課題に対して自分の問いをたてる力
- 言語化する力
- 相手を意識したコミュニケーション力

どのように学ぶか

教育課程の実施

- 体験的に学ぶ
- 学習したことを、対話を通してつなげながら学ぶ
- 「ひと・もの・こと」とかかわりながら学ぶ

実施するために何が必要か

指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- 子どもが自分の学校、地域を好きになり、自己肯定観を高める。（地域素材の活用・ふれあい山下など）
- 地域、家庭との信頼関係を構築する。（教育相談、授業参観など）
- 指導・支援体制を充実する。（校内研修、全職員によるチーム支援、ICT活用など）

安心・安全な学校づくり

- 「自分の身は自分で守る」態度の育成
- 防犯・防災教育、人権教育の充実
- 支援体制の見直しと充実

地域と共にある学校づくり

- 学校運営協議会の設置
- 地域の教育力（ひと・もの・こと）を生かした教育課程の編成
- 学校だより、学年・学級だより、ちいき情報局などによる情報発信